

# 【第17回】

## 幸田町

# 住民意識調査

### 《集計結果》

#### 【調査の概要】

- 時期 平成22年7月7日に調査票を発送し、平成22年7月31日までに回答はがきを回収しました。
- 調査対象 平成22年7月1日現在の住民台帳による住民(18歳以上)の中から、1,500名を対象としました。
- 集計 回答に基づき、集計をしました。

これまでの調査状況

回	調査基準日	調査対象者	回答者	回答率
第1回	昭和54年7月1日	981	763	77.8%
第2回	昭和55年6月1日	1,000	794	79.4%
第3回	昭和56年8月1日	1,000	739	73.9%
第4回	昭和57年11月1日	1,000	712	71.2%
第5回	昭和59年3月1日	1,000	673	67.3%
第6回	昭和62年10月1日	1,000	644	64.4%
第7回	平成元年7月1日	1,000	650	65.0%
第8回	平成3年7月1日	1,000	679	67.9%
第9回	平成5年7月1日	1,000	653	65.3%
第10回	平成7年7月1日	1,000	556	55.6%
第11回	平成9年7月1日	1,000	480	48.0%
第12回	平成12年8月1日	1,000	515	51.5%
第13回	平成14年8月1日	1,500	728	48.5%
第14回	平成16年7月1日	1,500	629	41.9%
第15回	平成18年10月1日	1,500	655	43.7%
第16回	平成21年2月1日	1,500	735	49.0%
第17回	平成22年7月1日	1,500	621	41.4%

# 第17回住民意識調査分析にあたって

## 1 総括

この調査は、幸田町民の実態及び意識などを明らかにするとともに、今後の行政施策の資料を得ることを目的として実施しました。

平成22年7月1日現在で住民基本台帳に登録された住民のうち、コンピュータで無作為に抽出した1,500人を対象として実施したもので、今回で17回目になります。

今回の調査は、町民のかたの意見や意識を統計的に知り、「夢のある 心のかよう 活力あるまち」を目指した町づくりへの基本資料を得るために実施しました。

なお、調査項目については、住民意識の動向を対比分析するため前回調査に類似したものとしています。

## 2 標本抽出の方法

全住民(18歳以上)から無作為に抽出しました。

## 3 秘密の保護

回答者に不安を与えないよう、また正確な解答を得るために、発送から回収まで全て郵送により実施することとしました。

## 4 見方

(1)設問の解釈の仕方、それに対する自覚の度合いの差異、択一式の性格などにより、結果に誤差を生じたり、比率については、あくまで相対的に高低を考える必要があります。

(2)全体の数値の極めて少ないものにあつては、当然誤差率が多く見られます。

(3)今回の結果だけで民意とするのは危険であり、今後も本調査の必要性を感じています。

(4)回答率、前回回答率、構成率、前回構成率は、すべてパーセント表示にしています。

ただし、数字の単位未満は四捨五入してあり、合計数と内訳が一致しない場合もあります。

## 5 総評

当調査は、町民の意見や意識を知るために必要な調査と考えますが、回収率では50%を大きく下回る結果となりました。今後調査を継続するにあたり、対策(調査方法、設問個数、設問内容)において検討する必要があります。

## 【あなた自身についておたずねします】

問1 あなたの性別は。

項目	回答数	構成率	前回率	発送数	回収率
1. 男	267	43.0	44.5	751	35.6
2. 女	354	57.0	55.5	749	47.3
無回答	0		0.0	—	—
合計	621	100.0	100.0	1,500	41.4

前年同様に、男女別の発送件数を把握した上で、回収率を算出してみました。

その結果、男女比において発送比率と回収比率が逆転する結果となり、女性の調査に対する意識の高さが伺える結果となりました。

問2 あなたの満年齢は。(平成22年7月1日現在)

項目	回答数	構成率	前回率	発送数	回収率
1. 29歳以下	73	11.8	10.7	250	29.2
2. 30～39歳	128	20.6	21.1	332	38.6
3. 40～49歳	113	18.2	16.3	275	41.1
4. 50～59歳	116	18.7	21.4	284	40.8
5. 60～64歳	89	14.3	13.9	185	48.1
6. 65歳以上	102	16.4	16.5	174	58.6
無回答	0	0	0.1	—	—
合計	621	100.0	100.0	1,500	41.4

年齢層区分においても、発送件数を把握した上で、回収率を算出してみました。中年層の回収率が高いものとなっています。

問3 あなたの職業は。(兼業の方は収入の多いほうを選んでください)

項目	回答数	構成率	前回率
1. 会社員	181	29.1	33.6
2. 会社役員	13	2.1	1.4
3. 公務員	13	2.1	3.4
4. 教職員	9	1.4	0.8
5. 自営業(商業関係)	24	3.9	2.7
6. 自営業(工業関係)	12	1.9	2.7
7. 自営業(農業関係)	18	2.9	2.7
8. 学生	17	2.8	1.8
9. 専業主婦	105	16.9	16.9
10. 内職	9	1.4	1.2
11. パート・アルバイト・フリーター	118	19.1	16.2
12. 無職	85	13.7	13.9
13. その他	17	2.7	2.6
無回答	0	0	0.1
合計	621	100.0	100.0

職業は、会社員が主ですが、今回、パートと学生の回答者数が増加しました。若干の社会状況の変化を表しています。

問4 あなたの住んでいる学区はどちらですか。小学校単位でお願いします。

項目	回答数	構成率	前回率
1. 坂崎学区	54	8.7	8.8
2. 幸田学区	167	26.9	22.6
3. 中央学区	137	22.1	23.1
4. 荻谷学区	90	14.5	14.5
5. 深溝学区	87	14.0	16.5
6. 豊坂学区	86	13.8	14.4
無回答	0	0	0.1
合計	621	100.0	100.0

人口比率で高い幸田学区と中央学区が全体の回答比率にて49.0%を占めるという結果となりました。

#### 参 考

学区名	行政区名	7月1日現在人口
坂 崎	長嶺・久保田・坂崎	3,449人
幸 田	大草・高力・鷺田・新田	9,389人
中 央	岩堀・横落	7,784人
荻 谷	荻・芦谷・幸田・桜坂	6,192人
深 溝	里・市場・海谷・逆川	5,505人
豊 坂	野場・永野・須美・六栗・上六栗・桐山	5,225人
合 計	23区	37,544人

問5 幸田町に住みはじめて何年ですか。

項目	回答数	構成率	前回率
1. 5年未満	67	10.8	11.7
2. 5～10年未満	55	8.9	7.9
3. 10～20年未満	81	13.0	12.5
4. 20年以上	418	67.3	67.5
無回答	0	0	0.4
合計	621	100.0	100.0

10年未満の住民が19.6%から19.7%へ微増しています。

### 【幸田のまちについておたずねします】

問6 あなたにとって、幸田町の住み心地はいかがですか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 住みやすい	284	45.7	2	36.1	2
2. どちらかといえば住みやすい	295	47.5	1	47.4	1
3. どちらかといえば住みにくい	34	5.5	3	8.2	3
4. 住みにくい	8	1.3	4	1.9	5
無回答	0	0	—	0.1	—
合計	621	100.0	—	—	—

「住みやすい」(回答1・2)を選択した方が93.2%と9.7ポイントの大幅な増加をしています。

問7 身近な生活環境で「よい面」について2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 自然環境がよい	477	38.4	1	32.6	1
2. 子育て・教育環境が良い	104	8.4	5	—	—
3. 交通が便利(バスや鉄道)	75	6.0	6	5.4	6
4. 買い物に便利	184	14.8	2	10.9	3
5. 人情味があり近所づきあいがよい	110	8.9	4	—	—
6. 文化やスポーツの機会に恵まれている	55	4.4	7	—	—
7. 災害に強い	33	2.7	8	1.0	15
8. 治安がよい	127	10.2	3	5.9	4
9. 医療や福祉関連施設が充実している	23	1.9	9	—	—
10. まちに魅力や活気がある	18	1.4	10	—	—
11. その他	10	0.8	11	1.0	15
無回答	26	2.1	—	1.5	—
合計	1242	100.0	—	—	—

「よい面」では、自然環境が良いが約4割を占めています。「買い物に便利」「治安が良い」など社会環境の良さが上位となりました。

問8 身近な生活環境で「わるい面」について2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 自然環境が悪い	11	0.9	11	0.8	16
2. 子育て・教育環境が悪い	30	2.4	9	—	—
3. 交通が不便(バスや鉄道)	282	22.7	1	18.4	1
4. 買い物に不便	145	11.7	4	8.9	4
5. 人情味がなく近所づきあいが悪い	30	2.4	9	—	—
6. 文化やスポーツの機会に恵まれていない	54	4.3	6	—	—
7. 災害に弱い	140	11.3	5	9.1	3
8. 治安が悪い	44	3.5	7	3.5	11
9. 医療や福祉関連施設が不足している	239	19.2	2	—	—
10. まちに魅力や活気がない	165	13.3	3	—	—
11. その他	38	3.1	8	2.6	13
無回答	64	5.2	—	3.3	—
合計	1242	100.0	—	—	—

「悪い面」では、「交通が不便」が22.7%で1位となり、ついで19.2%で「医療や福祉関連施設が不足」となっています。まちに魅力や活気がないが13.3%となり情報発信の充実が求められています。一方、「災害に弱い」が2.2ポイント増の11.3%になったのは、町内で発生した集中豪雨における災害が影響していると思われます。

問9 「住みよいまち 住みやすいまち」を実現していくために、特に力をいれてほしいことを、以下の中から3つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 福祉対策	401	21.5	1	18.8	1
2. 生涯学習対策	85	4.6	11	3.3	10
3. 学校教育対策	129	6.9	6	6.6	6
4. スポーツの振興	46	2.5	13	2.8	12
5. 都市基盤の整備	118	6.3	7	3.7	9
6. 農村環境の整備	67	3.6	12	5.0	8
7. 産業振興対策	100	5.4	8	—	—
8. 道路の整備	94	5.0	10	2.8	12
9. 環境保全対策	134	7.2	5	—	—
10. 保健衛生対策	171	9.2	2	7.9	5
11. コミュニティ活動支援	25	1.3	14	—	—
12. 公共交通対策	161	8.7	3	5.4	7
13. 交通・防犯など安全対策	153	8.2	4	8.8	2
14. 消防・防災対策	98	5.3	9	—	—
15. その他	23	1.2	15	0.6	23
無回答	58	3.1	—	1.0	—
合計	1863	100.0	—	—	—

町として、特に力をいれてほしいことは、「福祉対策」が21.5%と前回より2.7ポイント高くなっています。次いで「保健衛生対策」、「公共交通対策」となりました。

問 10 普段の生活圏（買い物や外食など）に関して、どちらをよく利用しますか。

項 目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 町 内	241	38.8	2	42.3	1
2. 岡崎市内	281	45.2	1	41.0	2
3. 蒲郡市内	77	12.4	3	13.1	3
4. 西尾市内	11	1.8	4	1.6	4
5. その他	11	1.8	4	1.4	5
無回答	0	0	—	0.3	—
合 計	621	100.0	—	—	—

岡崎市内が 4.2 ポイント増加して 1 位となり、町内が 3.5 ポイント減少して 2 位になり逆転しました。

問 11 町の事業計画や行事をお知らせする「広報こうた」を読んでいますか。

項 目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. すべて読んでいる	169	27.2	2	31.8	2
2. 主な項目(見出し)は読んでいる	317	51.1	1	48.4	1
3. あまり読んでいない	97	15.6	3	14.6	3
4. まったく読んでいない	38	6.1	4	4.8	4
無回答	0	0	—	0.4	—
合 計	621	100.0	—	100	—

「広報こうた」の利用については、前回同様の順位となりました。

問 12 議会活動の内容をお知らせする「こうた議会だより」を読んでいますか。

項 目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. すべて読んでいる	68	11.0	4	15.4	3
2. 主な項目(見出し)は読んでいる	261	42.0	1	44.6	1
3. あまり読んでいない	197	31.7	2	26.1	2
4. まったく読んでいない	95	15.3	3	13.8	4
無回答	0	0	—	0.1	—
合 計	621	100.0	—	100.0	—

「こうた議会だより」については、前回同様に「主な項目(見出し)は読んでいる」(42.0%)が 1 位となりました。

## 【住民参加のまちづくりについておたずねします】

問 13 住民参加のまちづくりとして、過去2年間で多く参加したものを2つ選んでください。

項 目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 高齢者、障害者、育児支援などの福祉活動	62	5.0	6	—	—
2. PTA、まちづくりなどの団体活動	111	8.9	4	—	—
3. 文化歴史などの保全活動	12	1.0	8	—	—
4. 交通・防犯・消防・防災などの地域の安全活動	95	7.6	5	—	—
5. 資源回収やごみ分別などのリサイクル活動	426	34.3	1		
6. 里山、河川美化、動植物などの環境保全活動	166	13.5	2		
7. スポーツ振興、健康増進活動	121	9.7	3		
8. 外国人との交流・支援などの活動	13	1.0	7		
無回答	236	19.0	—	—	—
合 計	1242	100.0	—	—	—

「資源回収やごみ分別などのリサイクル活動」が34.3%で1位となり、ついで13.5%で「里山、河川美化、動植物などの環境保全活動」と続き環境系の活動が上位を占めています。

問 14 問 13の中から今後あなたが参加したいまちづくり活動を2つ選んでください。

項 目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 高齢者、障害者、育児支援などの福祉活動	178	14.3	3	—	—
2. PTA、まちづくりなどの団体活動	56	4.5	8	—	—
3. 文化歴史などの保全活動	113	9.1	5	—	—
4. 交通・防犯・消防・防災などの地域の安全活動	137	11.1	4	—	—
5. 資源回収やごみ分別などのリサイクル活動	108	8.7	6		
6. 里山、河川美化、動植物などの環境保全活動	184	14.8	2		
7. スポーツ振興、健康増進活動	188	15.1	1		
8. 外国人との交流・支援などの活動	102	8.2	7		
無回答	176	14.2	—	—	—
合 計	1242	100.0	—	—	—

「スポーツ振興、健康増進活動」が15.1%で1位となりましたが、環境、福祉、安全、文化などが続き、多様な活動への参加を希望していることがわかりました。



## 【町の取り組みについておたずねします】

問 15 環境問題に対し、今後重点的に取り組んでいくべきと思われることを、次の中から2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. リサイクルの推進やごみの減量化	213	17.1	1	20.1	1
2. 太陽熱や廃熱など未利用エネルギーの有効利用	151	12.2	3	14.6	2
3. 小・中学校における環境教育の充実	119	9.6	7	7.7	6
4. 自然環境・生態系の保全	140	11.3	5	13.5	3
5. 自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進	147	11.8	4	7.2	7
6. 不法投棄の対策強化による美観の保持	124	10.0	6	10.3	5
7. 雨水や下水処理水などの有効利用	59	4.8	9	5.9	9
8. 地球温暖化防止対策の推進	98	7.8	8	7.1	8
9. 生ごみ処理器や太陽光発電等の設置促進と費用助成	163	13.1	2	11.5	4
10. その他	6	0.5	10	0.5	10
無回答	22	1.8	—	1.6	—
合計	1242	100.0	—	100.0	—

環境問題に関し、今後取り組むべきことを設問しました。その結果、「リサイクルの推進などごみの減量化」が17.1%と1位となりましたが3ポイント減少しました。今回4.6ポイント増加した「自転車や公共交通機関など環境にやさしい交通の利用促進」が順位を3つ上げており、今後の取り組みを望んでいることを示しています。

問 16 水道事業に対して特に力を入れてほしいことを2つまで選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 断水のない給水の継続	127	10.2	5	10.9	5
2. 水道水の安全性の向上、周知	211	17.0	3	17.8	2
3. おいしい水の供給	188	15.1	4	15.4	4
4. 災害や緊急時での対策	224	18.1	2	17.7	3
5. 節水の推進	30	2.4	8	2.9	9
6. 老朽施設の更新及び耐震化	68	5.5	6	4.1	6
7. 高層建物などへの直圧給水	5	0.4	9	0.2	12
8. 水資源の育成	66	5.3	7	3.9	7
9. 水道料金の抑制	300	24.2	1	20.2	1
10. その他	5	0.4	9	0.3	11
無回答	18	1.4	—	1.8	—
合計	1242	100.0	—	—	—

水道事業で特に力を入れるべきことは、「水道料金の抑制」が4ポイント増加し24.2%で最も高いものとなりました。ついで「災害や緊急時での対策」が0.4ポイント増加しており、安く安全で且つ安定的な水の供給を望んでいることを示しています。

問 17 あなたは、過去1年間に健康診断(がん検診などを含む)を受けましたか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 受けた	455	73.2	1	74.8	1
2. 受けていない	165	26.6	2	24.9	2
無回答	1	0.2	—	0.3	—
合計	621	100.0	—	100.0	—

過去1年間の健康診断の受診状況を確認してみました。「受けた」が73.2%となり、健康に留意されていることを示しています。

問 18 あなたは、病気になった場合、どここの病院に行きますか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. かかりつけ医(町内)	312	50.2	1	47.5	1
2. かかりつけ医(町外)	106	17.1	2	19.5	2
3. 岡崎市民病院	62	10.0	3	9.4	3
4. 蒲郡市民病院	30	4.8	5	6.4	5
5. 西尾市民病院	10	1.6	8	1.4	7
6. 安城更生病院	56	9.0	4	8.3	4
7. その他の総合病院	18	2.9	7	1.4	7
8. その他(薬局などで済ます)	26	4.2	6	5.8	6
無回答	1	0.2	—	0.3	—
合計	621	100.0	—	100.0	—

病院、医院の利用について設問しました。かかりつけ医の利用(町内 50.2%、町外 17.1%、合わせて 67.3%)が上位となり、町内のかかりつけ医が2.7ポイント増加しました。また総合病院の利用者は28.3%で1.4ポイント減となりました。

問 19 『少子化』対策として何をすべきと思いますか。2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 保育料、教育費の負担軽減(補助や減額)	317	25.5	1	28.7	1
2. 保育サービスの充実 (休日保育・病後児保育など)	178	14.3	3	13.8	3
3. 学校行事や学童保育の充実	65	5.2	7	4.6	6
4. 安心して遊べる公園や遊び場の整備	113	9.1	5	8.4	5
5. スポーツ活動を盛んにする (中学以前のクラブ活動化)	40	3.2	9	1.8	9
6. 子育てについて語り合える場所づくり (子育てサークルなどの充実)	49	3.9	8	4.1	8
7. 出産費用に対する補助の増額	141	11.5	4	11.5	4
8. 不妊治療に対する助成	69	5.6	6	4.5	7
9. 安心して出産育児ができる母子保健、 医療の充実	221	17.8	2	19.4	2
10. その他	19	1.5	10	1.7	10
無回答	30	2.4	—	1.5	—
合計	1242	100.0	—	100.0	—

『少子化』対策について伺いました。対策としては、「保育料、教育費の負担軽減」が25.5%で

1位、次いで「安心して出産育児ができる母子保健、医療の充実」が17.8%となっています。今回ポイントが伸びた項目はスポーツ、公園、行事など交流を主とするソフト事業でした。

問20 今後、高齢者福祉対策について何を優先すべきと思いますか。2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 福祉・健康・介護の相談窓口の確保充実	144	11.6	4	13.5	3
2. 一人暮らし高齢者に対する給食サービスの充実	155	12.5	3	11.6	4
3. 健康づくりや介護予防事業の充実	87	7.0	7	7.1	7
4. ヘルパーやボランティアなど介護の担い手の育成	190	15.3	2	13.7	2
5. 生きがいを見出す社会参加の機会の提供	132	10.6	5	11.0	5
6. 老人福祉センターなど高齢者福祉施設の充実	109	8.8	6	9.2	6
7. 入所が可能な介護施設の整備	279	22.5	1	22.4	1
8. 安心して外出できるやさしい都市環境整備	82	6.6	8	6.7	8
9. 小中学校での交流促進や福祉教育の推進	40	3.2	9	3.0	9
10. その他	9	0.7	10	0.8	10
無回答	15	1.2	—	1.0	—
合計	1242	100.0	—	100.0	—

高齢者福祉対策について伺いました。その結果、「入所が可能な介護施設の整備」が22.5%と高い率を示しています。また「ヘルパーやボランティアなど介護の担い手の育成」は15.3%と前回同様に上位となっています。これらは、介護施設と介護スタッフを充実したいという希望が伺えます。

問21 高齢者・障害者などにとって住みやすい町にするため、あなたが公共施設などの整備で特に必要だと思うことは何ですか。2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 道路や公共の建物などの段差をなくし、身体障害者などが利用しやすいように整備・改良する	296	23.8	1	41.3	1
2. 高齢者・障害者などが安心して快適に暮らせるような住宅を確保する	216	17.4	4	21.2	2
3. 高齢者などが身近でスポーツを楽しめる場を整備充実する	57	4.6	6	6.7	4
4. 趣味や学習などの活動で気軽に利用できる施設を整備充実する	244	19.6	2	14.7	3
5. 駅舎の整備(バリアフリー化)及び公共交通の拡充整備	161	13.0	5	5.4	5
6. 就業の場を確保する	235	18.9	3	4.0	6
7. その他	12	1.0	7	1.9	8
無回答	21	1.7	—	2.2	—
合計	1242	100.0	—	—	—

高齢者・障害者などにとって住みやすい町とするため、公共施設などの整備で必要なことを伺いました。その結果、「道路や公共の建物などの段差をなくし、身体障害者などが利用しやすいように整備・改良する」(23.8%)が17.5ポイントと大幅な減少をし、「就業の場を確保する」(18.9%)が14.9ポイントと増加し、「駅舎の整備(バリアフリー化)及び公共交通の拡充整備」(13.0%)が7.6ポイントと増加しました。福祉施設希望から福祉環境整備希望に移行していることを示しています。

問22 老後・定年後の生活や就労について、どのように過ごしたいですか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 働いて生活収入を得たい	242	39.0	2	44.2	1
2. 趣味の会などに参加して 楽しく過ごしたい	258	41.5	1	16.8	3
3. 知識と経験を生かして 地域に貢献したい。	102	16.4	3	3.8	5
4. その他	14	2.3	4	0.4	7
無回答	5	0.8	—	0.1	—
合計	621	100.0	—	—	—

老後・定年後の生活や就労について、その意向を伺いました。その結果、「趣味の会などに参加して楽しく過ごしたい」は24.7ポイント増の41.5%となり、逆に「働いて生活収入を得たい」が5.2ポイント減の39.0%となりました。全体的に地域社会参加希望に移行していることを示しています。

問23 青少年の非行が社会問題となっていますが、健全育成のためには何が大切だと思いますか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 家庭での対話を深めること	386	62.2	1	66.7	1
2. 学校教育の充実を図ること	31	5.0	4	4.4	4
3. 地域全体で健全育成に努めること	122	19.6	2	16.5	2
4. 社会環境の浄化を進めること	58	9.4	3	9.3	3
5. わからない	15	2.4	5	2.3	5
6. その他	7	1.1	6	0.7	6
無回答	2	0.3	—	0.1	—
合計	621	100.0	—	100.0	—

青少年の健全育成について伺いました。「家庭での対話を深めること」が4.5ポイント減の62.2%、「地域全体で健全育成に努めること」を合わせると81.8%になり、家庭と地域で健全育成をすることが重要と考えていることを示しています。

問 24 あなたは、近所の子どもの危険なこと・悪いことをしていたら注意していますか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 注意している	75	12.1	3	14.7	3
2. 時と場合によっては注意する	400	64.4	1	61.6	1
3. 必要だと思うが注意はしていない	103	16.5	2	16.3	2
4. 注意することは必要と思わない	1	0.2	6	0.7	6
5. 注意できない	23	3.7	4	3.9	4
6. わからない	18	2.9	5	2.7	5
無回答	1	0.2	—	0.1	—
合計	621	100.0	—	100.0	—

子どもに対して注意ができるか、しているかを伺いました。その結果、「注意している」が0.2ポイント増の76.5%となり、概ね注意をしているという結果となりました。

問 25 ハピネス・ヒル・幸田（町民会館・図書館・プール）は、指定管理者（幸田町文化振興協会）により運営されていますが、お気づきの点がありますか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. サービス・宣伝が充実した	129	20.8	3	6.9	4
2. 対応がよくなった	94	15.1	4	5.3	5
3. イベントが楽しみになった	164	26.4	1	18.8	2
4. サービスが低下した	30	4.8	5	2.2	6
5. その他	138	22.3	2	16.2	3
無回答	66	10.6	—	6.1	—
合計	621	100.0	—	—	—

施設運営者が変わったことによるサービス等の状況を伺いました。その結果、「イベントが楽しみになった」「サービス・宣伝が充実した」「対応がよくなった」が合わせて62.3%となり、施設運営を評価された結果となりました。

問 26 あなたが身近に感じている「災害」や「危険」を、次の中から2つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 交通事故	344	27.7	1	24.1	3
2. 犯罪(殺人、窃盗、不審者、振込み詐欺など)	291	23.4	3	25.8	1
3. 台風などの風水害	245	19.7	4	13.3	4
4. 地震	300	24.2	2	25.8	1
5. 火災	42	3.4	5	4.2	6
6. テロ(武力攻撃など)	2	0.2	8	0.1	8
7. その他	8	0.6	7	0.3	7
無回答	10	0.8	6	0.7	—
合計	1242	100.0	—	—	—

身近に感じている「災害」や「危険」については、「交通事故」が27.7%で第1位となりました。特に「台風などによる風水害」「地震」が43.9%となり自然災害への危機感が高くなる結果となりました。

問27 あなたは災害に備え、どのようなことを行っていますか。次の中から3つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 避難場所の確認	414	22.2	1	18.1	1
2. 家族との連絡方法の確認	328	17.6	2	12.0	4
3. 防災訓練への参加	69	3.7	7	2.6	11
4. 非常用持ち出し袋を用意	311	16.7	3	12.8	3
5. 家具等転倒防止対策を実施	236	12.7	4	5.4	8
6. 家屋等の耐震補強工事を実施	83	4.5	6	1.0	12
7. 特にない	157	8.4	5	6.6	7
8. その他	24	1.3	8	0.1	13
無回答	241	12.9	—	0.0	—
合計	1863	100.0	—	—	—

災害への備えについて伺いました。「避難場所の確認」が22.2%で第1位、「家族との連絡方法の確認」が17.6%で第2位、「非常用持ち出し袋を用意」が16.7%で第3位となりました。避難のための項目が上位となる結果となりました。

問28 一般住宅・アパートへの住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、お住まいの住宅には、火災警報器が設置されていますか。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. ある	319	51.4	1	52.7	1
2. 年内設置予定	113	18.2	3	—	—
3. 設置予定なし	182	29.3	2	44.5	2
無回答	7	1.1	—	0.5	—
合計	621	100.0	—	—	—

住宅用火災警報器の設置状況について伺いました。結果、5割以上の方が「ある」と回答されましたが、引き続き火災警報器設置率増加のために更なるPRをする必要があります。

問29 問28であると答えたかたは、設置した場所をすべて選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 寝室	242	31.1	2	—	—
2. 階段	158	20.3	3	—	—
3. 台所	285	36.7	1	—	—
4. その他	92	11.9	4	—	—
合計	777	100.0	—	—	—

住宅用火災警報器の設置場所について伺いました。台所が36.7%で1位となりましたが寝室、階段以外にもバランス良く設置されている結果となりました。

問 30 平成23年7月24日にテレビのアナログ放送が終了します。ご家庭での地上デジタル放送（地デジ）への移行の状態を次の中から1つ選んでください。

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. アンテナにて地デジ受信している	115	18.5	2	—	—
2. ケーブルにて地デジ受信している	334	53.8	1	—	—
3. 年内に地デジ受信を予定している	100	16.1	3	—	—
4. どのように地デジ受信をしたら良いのかわからない	38	6.1	4	—	—
5. その他	28	4.5	5	—	—
無回答	6	1.0	—	—	—
合計	621	100.0	—	—	—

地デジ移行について伺いました。地デジ移行済みが72.3%で年内予定を入れれば88.4%となります。受信方法をわからない6.1%とその他の4.5%への早期対応が必要とされています。

問 31 最後になりましたが、これからも『幸田町』に住みたいですか。

(仕事などによる転勤がないものとして回答してください。)

項目	回答数	構成率	順位	前回率	前回順位
1. 住み続けたい	390	62.8	1	58.8	1
2. どちらかといえば住み続けたい	168	27.1	2	29.4	2
3. できるだけ早い時期に転出したい (国内への引越し)	13	2.1	4	3.0	4
4. 海外に移住したい	6	1.0	5	0.5	5
5. わからない	44	7.0	3	7.9	3
無回答	0	0	—	0.4	—
合計	621	100.0	—	100.0	—

最後の設問として、これからも『幸田町』に住みたいか伺いました。

その結果、「住み続けたい」が4.0ポイント増加し62.8%となり、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると89.9%の方が住み続けたいと回答されました。現在の幸田の状況や今後の幸田への期待において、住民の皆様が『幸田町』に期待していることを意味しています。

町としては、『夢のある 心のかよう 活力あるまち』を目標に、『人と自然を大切にする緑住文化都市』の実現に向け、まちづくりをすすめてまいります。

